

# がまこおり 議会 だより

## 3月市議会定例会

一般質問…ここが論点…………… 2～ 7  
議決された主な議案…………… 8～ 11  
平成 29 年度一般会計予算 274 億 9,100 万円  
議会日誌、5 月臨時会・6 月定例会予定等 … 12

NO. 94  
2017.5



患者さんにより良い医療を！／市民病院 地域医療連携室



# 一般質問…ここが論点

3月市議会定例会中、3月2日、6日、7日の3日間で、3人の議員が会派を代表して質問し、11人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、蒲郡市議会ホームページ (<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/gikai/>) の会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

また、インターネット上でライブ中継と録画中継も実施していますので蒲郡市議会ホームページからご覧ください。

## ■ 各会派代表質問

日程	会派名及び議員名	主な質問の項目
3月2日 (木)	自由民主党蒲郡市議団 代表 大場 康 議	<a href="#">堅実な行財政運営</a> 産業の振興・働く場の確保 <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a>
	蒲郡自由クラブ 代表 広 中 昇 平	<a href="#">堅実な行財政運営</a> 産業の振興・働く場の確保 <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a> モーターボート競走事業
	公明党蒲郡市議団 代表 伊 藤 勝 美	<a href="#">5年連続増の一般会計予算</a> <a href="#">堅実な行財政運営</a> 産業の振興・働く場の確保 <a href="#">安全で住みやすい、魅力ある町づくり</a> <a href="#">質の高い行財政運営</a>

## ■ 個人質問

日程	議員名	主な質問の項目
3月2日 (木)	鈴木 貴 晶	<a href="#">企業版ふるさと納税</a> <a href="#">ごみの出し方</a> オリジナル出生届・婚姻届
	鎌 田 篤 司	<a href="#">商店・商店街への応援策</a> 高齢者施策
3月6日 (月)	日恵野 佳 代	いじめ対策 <a href="#">市民が楽しく暮らせるまちづくり</a> 地域経済の活性化
	牧 野 泰 広	<a href="#">学校図書</a> <a href="#">Wi-Fi環境の整備</a>
	柴 田 安 彦	<a href="#">市民病院の経営と新改革プラン</a> 在宅看取り 観光地域振興助成金
	稲 吉 郭 哲	<a href="#">社会インフラの老朽化</a> <a href="#">市民体育センターの災害時対応</a>
3月7日 (火)	青 山 義 明	<a href="#">市民の健康</a> <a href="#">河川改修工事</a> <a href="#">旧蒲郡信用金庫本店の利用</a>
	大 向 正 義	ストレスチェックと働き方改革 <a href="#">海のまちづくりと新しい観光施策</a> <a href="#">耐震改修促進計画と地域防災計画</a>
	竹 内 滋 泰	<a href="#">公共施設</a> <a href="#">市民病院の安定経営</a>
	尾 崎 広 道	<a href="#">働き方改革</a> <a href="#">道路の利便、安全</a>
	伴 捷 文	防犯、交通安全 <a href="#">経済産業の活性化</a>

※[下線付の項目](#)は次ページより質問と答弁の要旨を掲載しています。

自由民主党蒲郡市議団  
代表 大場 康 議

公共施設等総合管理計画  
について

**問** 計画の進め方について伺う。

**答** 計画では全ての公共施設を建物系施設とインフラ・プラント系施設に分け、平成29年度からの30年間で将来費用を約2232億円と試算している。建物系は施設保有量の適正化・長寿命化による建て替え時期の平準化で更新費縮減の目標を定め、インフラ・プラント系は個別施設計画を作り、進めていく。

セーリング世界大会  
について

**問** 29年度に海陽ヨットハーバーで開催が予定されるセーリング世界大会について伺う。

**答** テーザー級世界選手権は、7月30日から開催し、参加国数7カ国、参加



世界大会が開催されるセーリング競技

艇数80艇が見込まれる。セーリングワールドカップは、10月15日から参加国数約30カ国、参加艇数370艇が見込まれる最大規模の大会である。会場周辺でのイベント開催や地元産品の販売等のおもてなしを通じ、蒲郡の魅力を発信していく。

都市基盤の整備について

**問** 国道247号バイパスは、29年秋に開通する予定と聞かすが、4車線化について、どのように考えているのか。

**答** バイパス全線の4車線化は必要と考え、機会があるごとに事業主体である県に要望を行っている。県からは、暫定供用開始後に事業評価を実施し、優先度等を検討していくと聞いている。

**問** 大型客船の寄港を想定した、蒲郡ふ頭11号岸壁の延伸工事の概要と今後の工事予定を伺う。

**答** 地盤改良、マウンド造り成等を行った後、岸壁本体であるケーソンの据えつけ、上部工を行う。ケーソンを30年1月頃に据えつけ、30年7月までには50m分の延伸を完了させたいと、事業主体の県から聞いている。

蒲郡自由クラブ  
代表 広 中 昇 平

まち・ひと・しごと創生  
総合戦略の成果は

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略のこれまでにの成果をどのように評価しているか。

**答** 総合戦略では重要業績評価指標を設定しており、その達成状況を年度ごとに検証して進捗管理を行っている。平成27年度の実績として、産業振興施策により、宿泊観光客数、観光入込客数、創業件数は26年度より大きく数字を伸ばした。28年度の実績値はまだ出ていないが、地方創生加速化交付金を活用し、みなとオアシスエリアの環境整備を行い、その後Sea級グルメ全国大会等を開催した。また、三河港蒲郡地区開港50周年に合わせて帆船やクルーズ客船の誘致を行い、観光拠点としての港を活用することができた。

特色ある市民病院づくり  
について

**問** より特色ある病院づくりのために、地方公営企業法の全部適用など、市民病院の経営形態の見直しについて、どのように考えているのか。

**答** 全部適用により、事業管理者に組織の運営や体制の構築に関する権限が



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

全て委譲され、医療政策などに迅速に対応できる。反面、不採算部門を担う公立病院にどこまで責任を持たせるべきか疑問がある。当面は他の公立病院の事例を研究しながら、現在の経営形態を継続したいと考える。

運転免許証の  
自主返納促進について

**問** 高齢者が加害者となる交通事故死亡事故が増えていく。そこで、高齢者の運転免許証自主返納を促進するため、返納者に電動アシ

スト自転車を購入する際の補助を行ってはどうか。

**答** 地球温暖化対策の推進のため、電動アシスト自転車購入補助事業を実施しており、高齢者が運転免許証を自主返納した場合も補助対象となる。返納の促進という観点からも周知していきたい。

公明党蒲郡市議団  
代表 伊藤勝美

5年連続増加の予算の要因と背景は

**問** 他市では前年度比減の予算が計上される中で、本市の一般会計予算は、5年連続の増加となっている。その要因と背景について伺う。



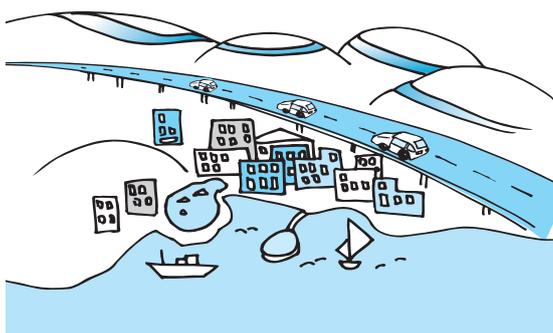
**答** 人口増や市民の健康づくりにつながる町づくりを進めることで、市の将来が「夢と希望に満ちた、明るく輝く、元気な町」となるよう取り組んできた。

市税収入は個人及び法人市民税は減額となるものの、相楽町民成地区やラグーナ蒲郡地区の建物建設の影響等もあり、固定資産税が増額となるため、市税全体では5年連続で増額を見込んでいる。

目標人口達成のために

**問** 目標人口を達成するための諸課題に対する戦略的な取り組みと市債を減らし、経常経費を抑えることを両立させるための予算上の工夫について伺う。

**答** 最重要課題の子育て環境の充実では、育児退園問題への対応として、育児休業を取得した場合に2歳以上児の保育継続を可能とし、保育士の人材確保にも取り組んでいく。また、産業の活性化では企業再投資促進補助などを実施する。



一方、市債を減らし、経常経費を抑えるため、道路等インフラの維持補修費は、前年度比32・8%増額し、将来の投資の抑制、施設の安全確保に留意した。

拡充・継続する事業の評価と改善は

**問** 安全で住みやすい、魅力ある町づくりのため、平成29年度に拡充・継続する事業を、どのように評価改善し、どのような効果を見込んでいるのか。

**答** 都市基盤整備では、駅南土地地区画整理事業で行っている点字ブロックの

設置など歩道のバリアフリー化を進め、蒲郡駅から竹島に至る観光客の動線に配慮した整備を行い、都市景観の向上を図る。

また、教育環境の充実では、小学校1年生から中学校3年生まで実施している35人以下学級を継続実施するとともに、特別支援教育指導補助員を28年度に引き続き1人増員し、特別支援教育の充実を図る。

多様化する市民ニーズに対応するために

**問** 事務の効率化や簡素化に徹するとともに、職員の資質向上を図り、質の高い行財政運営に取り組みることについて、その具体策を伺う。

**答** 職員の資質向上については、24年2月に制定した人材育成基本方針に基づき、自己啓発・自己学習の促進、活力を生み出す職場環境づくり、能力・実績重視の人事管理、意識改革につながる職員研修などを実施している。また、質の高い行財政運



営には「人・もの・金・情報・時間」の5つの資源が必要とされるが、この中の「人」が最も重要な資源である。「人材」を、すぐれた能力を備え、それを発揮して目標の達成に貢献できる「人財」に育てていきたいと考えている。

鈴木貴晶（自由クラブ）

企業版ふるさと納税制度の活用を

**問** 本制度の活用が財源確保につながると考える企業が寄附したくなるよう



資源ごみステーション

**問** 全国的にスプレー缶等の穴あけが原因の死亡事故も発生している。回収方法の変更が市民の安全につながるかと考える。穴あけを不要とし、空き缶とは別のかごで回収してはどうか。

**スプレー缶等の回収方法の変更を**

**答** 市が企業から提案のあった事業を実施すべきと判断した場合には本制度を活用していく。今後も、ホームページ等での周知とともに、企業に対してもアプローチしていきたい。

**問** 今後の支援策の展望について伺う。

**答** 平成27年度に販路拡大事業費補助金制度を創設したように、頑張る商店の取り組みを応援する施策を実施していく。また、商店街については、国・県の補助制度をうまく活用するためにも、情報収集や事例研究に取り組み、有効な施策の導入を検討していく。

**頑張る商店・商店街への支援策を**

**答** 穴あけを不要とすると、作業員の増員や穴あけ設備等の導入も必要となる。他の自治体の取り組み状況を把握し、課題を整理した上で見直しの検討をしていきたい。

鎌田篤司（自民党市議団）



**問** 無人化により新規の定期券や長距離切符が買えない。ホームで転落事故等が起きてもすぐに対応できない等の不安がある。地

**日恵野佳代（無党派・日本共産党）**  
三河大塚・三河三谷・三河塩津駅の無人化に反対を

**問** 無人化により新規の定期券や長距離切符が買えない。ホームで転落事故等が起きてもすぐに対応できない等の不安がある。地

- その他の質問
- 1 いじめ対策
  - 2 公共施設マネジメント実施計画
  - 3 地域経済の活性化

**牧野泰広（自由クラブ）**

**魅力的な学校図書館を**

**問** 2年間の学校図書館支援業務を通して見えて

方自治体の使命は、市民の安全と暮らしを守ることである。すぐに沿線住民に周知して、同じように無人化される豊川市や幸田町と一緒に無人駅は困るとJR東海に言うべきではないか。

**答** 無人化はJR東海としての決定事項であって、その撤回を求めることはしない。ただ、安全面等に十分留意して欲しい旨はすでに伝えてあり、今後、何らかの問題が生じたときには、すぐにJR東海に話をしていきたい。また、広報がまごおり等で市民への周知を行う予定である。



きた課題の解決を図るため、図書館支援員の勤務日数・時間を長くしたモデル校を設定してはどうか。

**答** モデル校の設定は他の学校の配分時間の削減につながるため、配分は平等にと考えている。平成29年度は図書館主任者会の重点テーマに図書館支援員との連携を掲げるとともに、学校の重要課題として校長会等にも協力依頼することで、各学校での特色ある取り組みを期待している。

**Wi-Fi環境の整備は**

**問** Wi-Fi環境の整備についての考えを伺う。

**答** 観光地にWi・Fiがあれば、平常時の観光客向けのサービスに加え、災害発生時にも活用できるメリットがある。関係部門で協議しながら、効果的な整備を行っていきたい。

柴田安彦（無党派）

**市民病院の病床稼働率について**

**問** 許可病床ごとの病床稼働率について伺う。

**答** 一般病床の平成28年10月から29年1月の平均稼働率は65・9%である。地域包括ケア病床は2病棟で運用を開始した28年10月は48・6%だが、29年1月には67・0%となり、順次、稼働率が上がっている。

**問** 病床稼働率の低い開放型病床の一部を休床したほうが、効率的な運営ができるのではないか。

**答** 開放型病床は開業医と協力して診療する病床のため、現在のところ休床は考えていない。

**問** 全病棟を開けて各病棟に病床を分散させるの



ではなく、病床を集中させて1病棟閉鎖すれば、看護体制を1ユニット削減でき、経済的だが、どのように考えているか。

**答** 院内感染等の発症を避け、安全で良質な入院医療を提供することを目的に全ての病棟を開放している。

稲吉郭哲（自由クラブ）

**水道管の老朽化対策は**

**問** 老朽化した水道管の更新について伺う。

**答** 主要管路は西部送水管を、一般管路は優先順位を定めて更新工事を実施している。管路更新率が低い水準だが、西部送水管に重点的に投資しているためである。今後は管路維持管理業務や漏水修繕用の備蓄資材等を充実し、市民生活への影響を抑えていく。

**地震発生時の体育センターの対応は**

**問** 耐震性に劣る体育館における緊急地震速報発令時の対応及び利用者への周知について伺う。



建て替えを検討する体育館

**答** 緊急地震速報発令時には管理者が手動で館内放送を流す仕組みであるため、現在、自動で館内放送が流れる仕組みの構築に向け調査している。また、防災ラジオの設置台数を増やし館内各所に配備することや、利用者へのチラシの配布等を考えている。

青山義明（自民党市議団）

**職域の健康づくり推進を**

**問** 商工会議所と連携した取り組みについて伺う。

**答** これまでも商工会議所と情報交換をしてきたが、働く人が健康になるための取り組みを推進するため、更に連携を進めていきたい。

**河川のしゅんせつ工事について**

**問** 河川のしゅんせつ工事の実施状況を伺う。

**答** 県管理の西田川と落合川は平成29年度も引き続き工事予定と聞いている。

市管理の河川では尺地川等の工事を予定している。

**旧蒲郡信用金庫本店の利用について**

**問** 公共的な利用の是非について伺う。

**答** 蒲郡信用金庫の申し出を受け、利用方法を検討したが、維持費用や効果等を考慮すると公共的な利用は困難と判断した。

**大向正義（自民党市議団）**

**クルーズ船寄港時代の海のまちづくりを**

**問** クルーズ船の寄港に伴い、市民会館など海の近くの公共施設を移転し、その跡地に商業施設などの誘致を検討してはどうか。

**答** 公共施設マネジメント実施計画のリーディングプロジェクトとして、市民会館は長く利用できるよう適切に維持管理するとともに、他施設の機能との複合化の検討を進め、多様な活動が便利に行える場としたいと考えている。



緊急輸送基地となったモーターボート競走場

**災害時の  
緊急輸送基地について**

**問** 緊急輸送基地の中心基地は市役所からモーターボート競走場に変更したが、耐震性に問題のある体育センターが予備中心基地のままなのはなぜか。

**答** 市の施設には代替施設がなく、変更しなかった。市の施設以外の活用も検討しているが、災害時に長期の使用は難しいと考えている。

**竹内滋泰（自民党市議団）**

**公共施設マネジメント  
実施計画について**

**問** 地区利用型施設について伺う。

**答** 地区利用型施設は、学校に子育て支援機能、高齢者向け機能などを集約し、子育て、高齢者のレクリエーション、防災活動など多様な活動ができるよう整備することで地域コミュニティの維持・活性化につなげたいと考えている。

**問** どの学校に、何の機能を集約するかは、平成29年度以降、地域の皆さんと協働で中学校区ごとに順次、地区個別計画を策定していく。

**市民病院の  
安定経営について**

**問** あま市民病院が指定管理者制度を導入することのことが、蒲郡市民病院の経営形態の見直しは。

**答** 地方公営企業法の一部適用を継続したいと考えているが、全部適用や地

方独立行政法人化など他の経営形態についても、引き続き研究をしていく。

**尾崎広道（自由クラブ）**

**市職員の働き方改革は**

**問** 働き方改革を進めるために必要なことは何か。

**答** 管理職を中心に効率的な業務運営やワークライフバランスに資する取り組みを行った者を適切に評価し、長時間労働よりも業績や業務の改善・効率化を評価する職場環境を実現することが必要であり、これらのメリットを発信し続けていく。

また、優れた取り組みの見える化、例えば職員表彰なども必要だと考えている。



**道路の利便、  
安全性について**

**問** 形原町の音羽交差点、形原港町交差点、西蒲町の馬相交差点を歩車分離式信号にすることについて、市の見解と対応を伺う。

**答** 特に交通の安全を確保すべき交差点として地元からの要望があれば、蒲郡警察署を通じて公安委員会に歩車分離式信号の導入を要望していきたい。

**伴 捷文（自民党市議団）**

**経済産業の活性化を**

**問** 産業の振興には、既存の地場産業の活性化に加え、新産業の育成、市と商工会議所の連携体制の強化が必要ではないか。

**答** 新産業の創出は、創業者による場合や、市内既存企業の新事業分野への進出など、その主体も内容も広く可能性を秘めており、産業振興にとって重要だと捉えている。これまで以上



に商工会議所との連携体制を強化し、協調して産業振興に取り組んでいきたい。

**問** 新産業を育てるため、商工会議所が設立するイノベーションセンターとはどのようなものか。

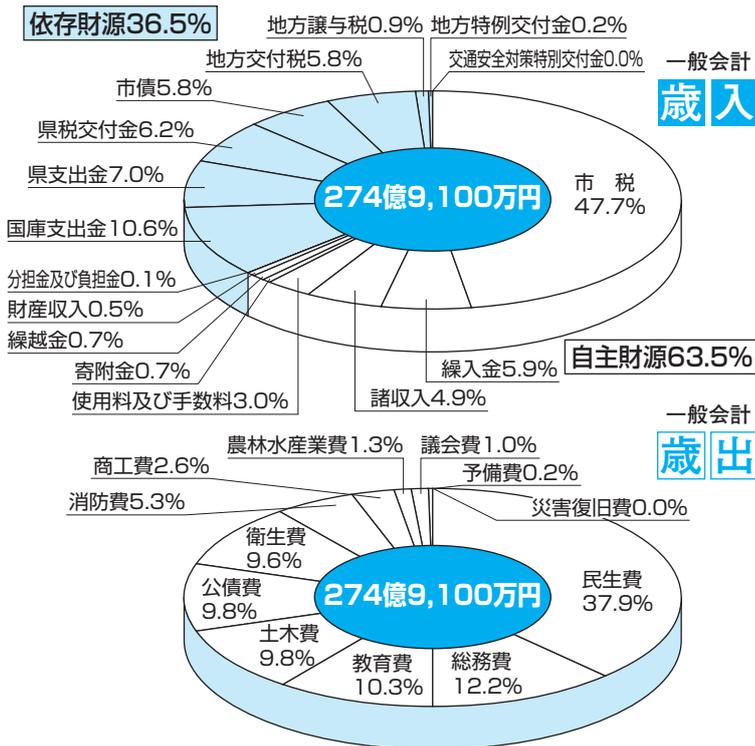
**答** 異なる仕事を持つ人が集まり、情報やアイデアの交換などコミュニケーションを図ることで新しいアイデアが生まれ、イノベーションをもたらし働き方のための共有スペースを設け、市内創業者・第二創業者の事業立ち上げを後押しする拠点を想定している。

# 平成29年度一般会計予算 などを議決

3月定例会  
議案

3月市議会定例会は、2月27日から3月22日までの24日間の会期で開き、議案28件、請願1件を審議しました。

平成29年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



## 平成29年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	274億9,100	0.0%増
特別会計	国民健康保険事業	94億9,630 0.5%減
	介護保険事業	59億5,740 3.9%減
	後期高齢者医療事業	19億7,690 4.8%増
	土地区画整理事業	16億1,470 7.4%減
	企業用地造成事業	2,110 97.1%減
	公共用地対策事業	1億7,070 40.0%増
	下水道事業	27億880 10.7%増
	三谷町財産区	2,850 29.1%減
	西浦町財産区	1,310 増減なし
	小計	219億8,750 3.2%減
企業会計	水道事業	収益的 17億9,490 6.3%増 資本的 10億5,870 5.8%減
	病院事業	収益的 77億8,530 1.7%減 資本的 9億2,330 11.1%増
	モーターボート競走事業	収益的 806億6,180 3.8%減 資本的 36億1,950 342.8%増
	小計	958億4,350 0.4%減
	合計	1,453億2,200 0.7%減

### 予算審査 特別委員会から

平成29年度一般会計予算など13会計予算は、18人の委員からなる予算審査特別委員会（委員長 大向正義、副委員長 伊藤勝美）を設置し、審査されました。審査は、3月13日、14日、15日、17日の4日間にわたり、慎重に行われました。

#### ●歳出

#### ●総務費

公共施設マネジメント  
地区個別計画策定会議  
問 具体的な地区ごとの会議の進め方は。

答 まず準備のできた中学校区で始め、そこが軌道に乗ってきたら、別の中学校区でも始めてというように2地区を平行する形で進めていきたい。地区住民には、市の公共施設が抱える問題を説明し、ご理解いただいているから、ワークショップ方式等で地区住民から地区利用型施設の再編プランについて、意見をいただき、それを評価する形でとりまとめを行っていきたい。

問 会議の期間は、どれくらいを想定しているのか。  
答 どれくらいの期間でというのではない。

理想としては、29年度内に地区個別計画の策定を終えるまでと想っているが、少なくとも地区住民から施設の再配置の大筋について一定の合意が得られるような段階まで進められればと考えている。

#### ●民生費

#### ユトリナ蒲郡利用助成費

問 利用助成制度導入の経緯について伺う。

答 市の東部には高齢者の健康増進を目的とした老人

3月定例会の日程

《2月》

27日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、  
予算大綱説明、議案説明など〕  
予算審査特別委員会

《3月》

2日 本会議〔一般質問〕  
6日 本会議〔一般質問〕  
7日 本会議〔一般質問〕  
8日 総務委員会  
9日 経済委員会  
10日 文教委員会  
13日 予算審査特別委員会  
14日 予算審査特別委員会  
15日 予算審査特別委員会  
17日 予算審査特別委員会  
22日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、  
採決など〕



高齢者に利用助成を実施するユトリーナ蒲郡

福祉センター寿楽荘がある。西部にあるユトリーナ蒲郡についても、高齢者に利用していただき、健康増進、閉じこもり予防、介護予防につなげていくことを目的として、料金の一部助成を決めた。

●衛生費  
運動サポートセンター  
運営事業

問 どれくらいの利用人数を想定しているか。

答 この施設は誰でもすぐに利用できるというものはなく、何らかの理由で運動指導が必要と判断した方を対象にしていく。例えば、特定保健指導対象者や、血糖値が高いなどで生活改善が必要とされる方に対し、まず保健師等が状況を把握した後に、専門の運動指導者が個別プログラムを作成し、センターを利用していただくことを考えている。このため、まずは運動指導を必要とする方がどの程度

いるのかを把握する必要がある。また、施設の広さや導入する機器についても考慮しなければならず、利用人数の想定は現段階でははっきりしていない。

●農林水産業費

水産物成分分析・活用  
調査事業

問 本事業で得た成果をどのように消費者等に普及させるのか。

答 成分分析により、水産物のおいしさを数値化することができれば、例えばまちじゅう食べる水族館プロジェクトで活用し、販路拡大の手法になると考える。まずは、成分分析でいい結果が出ることを期待している。

また、いずれは他の産地との比較ができればいいと考えているが、今回は蒲郡で水揚げされる水産物の分析を考えている。

●商工費

産業力向上事業

問 商工会議所とどのように連携しながらイノベーションセンターを設置するの

か。

答 事業者数が減っている中、商工会議所が28年に発表した長期ビジョンに沿い、創業者・第二創業者の応援をしていく。本事業では、商工会議所が開設するイノベーションセンターのインフラ整備に係る費用を補助金として支援していく。

問 どこに設置予定か。

答 商工会議所の職員の目が行き届き、使い勝手がいいため、商工会議所の事務所横のスペースを想定している。

●土木費

駅周辺施設維持管理事業

問 三河三谷駅バリアフリー化補助金の内容、事業費の総額、負担割合、事業期間について伺う。

答 バリアフリー法に基づき移動等円滑化の促進に関する基本方針が改定され、1日3千人以上の鉄道駅を32年度までに整備する目標が設定されており、本市では三河三谷駅が該当する。障がい者対応のエレベーター、多機能トイレ、音声案内装置等を構内に整備する



バリアフリー化を予定している三河三谷駅

ためのJR東海への補助金である。総額は約2億4千万円で国・市・JR東海が3分の1ずつ負担する。事業期間は3カ年を予定しており、29年度は詳細設計、30年度は整備工事、31年度は付帯工事を実施する。

●消防費

西部出張所仮眠室改修事業

問 事業の内容について伺う。

答 西部出張所の仮眠室を個室化するための改修工事を行う予定である。

問 西部出張所には、訓練や駐車をする場所がほとんどない。抜本的な解決のため



めには、移転・建て替えし  
かないと思うが、どうか。  
**答** 耐震性能はあるが、建  
築後50年が経過しており、  
老朽化が進んでいるため、  
29年度から38年度の間に移  
転・建て替えの検討を行う  
予定である。

●**教育費**

**日本語教育相談員経費**

**問** 事業の内容について伺  
う。

**答** 29年度は本市で日本語  
教育が必要な外国籍の児童  
・生徒数を205人と見込  
んでいる。従来は各学校で  
国際交流協会の多文化共生  
部会にある日本語教室の協  
力を得ながら個別に対応し  
てきたが、手いっぱいの方  
況である。

そこで、日本語教育の必

要な児童・生徒が最も多い  
塩津学区にある塩津中学校  
に初期指導ができる適応指  
導教室を設け、日本語教育  
相談員を1人配置する。相  
談員は、教員経験者で現在  
日本語教育を担当している  
方を予定している。

○**水道事業会計**

年度末給水栓数は、3万  
3367栓、1日平均給水  
量2万6301mを予定し  
ており、収益的収支は1億  
2890万円の黒字予算で  
す。

○**病院事業会計**

1日平均入院患者数を2  
52人、外来患者数を75  
0人と見込み、収益的収支  
は6億9320万円の赤字  
予算です。収益的収入と資  
本的収入で合計15億円をモ  
ーターボート競走事業会計  
から繰り入れます。

○**モーターボート競走事業  
会計**

年間192日の開催を予  
定しており、収益的収支は  
11億4380万円の黒字予  
算です。この会計から下水  
道事業特別会計に7億円、  
病院事業会計に15億円を支  
出します。

### 条例の制定

●**いじめ問題調査委員会及  
びいじめ問題再調査委員  
会条例の制定**

(第6号議案)

いじめ防止対策推進法の  
規定に基づき、いじめ問題  
調査委員会及びいじめ問題  
再調査委員会を設置し、い  
じめの防止等の対策を総合  
的かつ効果的に推進します。

●**文教委員会での主な質疑**

**問** 調査委員会と再調査委  
員会の委員にはどういった  
方がなるのか。

**答** 調査委員会の委員は、  
専門的知識及び経験を有す  
る第三者、具体的には県の  
弁護士会、医師会、臨床心  
理士会、社会福祉協議会な  
どから推薦をいただいた方  
にお願いをします。

再調査委員会の委員は、  
調査委員会の委員と同様の  
基準で選定しますが、調査  
委員会の委員とは別の人  
を選ぶこととなります。

**問** 重大事態とは、どのよ  
うな場合か。

**答** ①いじめにより当該学  
校に在籍する児童等の生命、

心身又は財産に重大な被害  
が生じた疑いがあると認め  
る場合。②いじめにより当  
該学校に在籍する児童等が  
相当の期間学校を欠席する  
ことを余儀なくされている  
疑いがあると認める場合。  
③児童生徒や保護者から  
「いじめられて重大事態に  
至った」という申し立てが  
あった場合です。

### 請 願

①**設楽ダム建設ではない利水、治水、  
環境保護を求める請願**

提出者 清水 芳卓 氏  
審査結果 不採択  
(○内の数字は請願番号)

### 3月定例会で議決された平成28年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予 算 額
一般会計 (第6号)	障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 3,434万1千円	3億9,864 万円	289億2,493 万円
	後期高齢者医療事業特別会計繰出金 2,383万円		
	障害児通所給付費等国庫負担金等返還金 354万5千円		
	生活保護費国庫負担金等返還金 2,230万円		
	竹島水族館耐震・リニューアル事業費 2億6,350万円		
	急傾斜地崩壊対策事業負担金 257万5千円		
	道路ストック総点検事業工事費 2,150万円		
	みなとオアシストイレ設置工事費等 2,204万9千円		
	教育文化振興基金積立金 500万円		
国民健康保険 事業特別会計 (第3号)	高額医療費共同事業拠出金 1,197万円	1,197 万円	95億5,415 万円
後期高齢者医療 事業特別会計 (第1号)	後期高齢者医療広域連合納付金 2,383万円	2,383 万円	19億963 万円

■ 全会一致で可決した議案 (○内の数字は議案番号)

- ① 職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正
- ④ 固定資産税等の課税の特例に関する条例の一部改正
- ⑤ モーターボート競走事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正
- ⑥ いじめ問題調査委員会及びいじめ問題再調査委員会条例の制定
- ⑦ 少人数学級編制の実施に係る市費負担教員の任用、給与等に関する条例の一部改正
- ⑧ 指定管理者の指定 (竹島水族館)
- ⑨ 市道の路線廃止及び変更
- ⑭ 平成29年度土地区画整理事業特別会計予算
- ⑯ 平成29年度公共用地対策事業特別会計予算
- ⑰ 平成29年度三谷町財産区特別会計予算
- ⑱ 平成29年度西浦町財産区特別会計予算
- ⑳ 平成29年度病院事業会計予算
- ㉓ 平成28年度一般会計補正予算 (第6号)
- ㉔ 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第3号)
- ㉕ 平成28年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号)
- ㉖ 平成28年度土地区画整理事業特別会計補正予算 (第1号)
- ㉗ 平成28年度企業用地造成事業特別会計補正予算 (第1号)
- ㉘ 平成28年度下水道事業特別会計補正予算 (第3号)



■ 賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団				蒲郡自由クラブ				公明党 蒲郡市議団			無会派								
		大場 康議	伴 捷文	喚田 孝博	大向 正義	鎌田 篤司	竹内 滋泰	青山 義明	尾崎 広道	鈴木 基夫	広中 昇平	稲吉 郭哲	牧野 泰広	鈴木 貴晶	伊藤 勝美	松本 昌成	大竹 利信	日恵野 佳代	来本 健作	新実 祥悟	柴田 安彦
2	個人情報保護条例等の一部改正	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
3	市税条例の一部改正	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	平成29年度一般会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	平成29年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	平成29年度介護保険事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	平成29年度後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	平成29年度企業用地造成事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成29年度下水道事業特別会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成29年度水道事業会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成29年度モーターボート競走事業会計予算	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	設楽ダム建設ではない利水、治水、環境保護を求める請願	●	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○

※喚田孝博議員は議長職により採決には参加していません。

# 議会日誌

1月6日から4月3日

## 1月

23日 名鉄西尾・蒲郡線存続協議会

## 2月

1日 議会運営委員会理事会

6日 中央小学校議場見学

13日 東部小学校議場見学

16日 議会運営委員会理事会

20日 3月定例会招集告示

議案説明会

当初予算説明会

23日 議会運営委員会

27日～3月22日 3月定例会

## 3月

22日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会

## 4月

3日 議会だより編集委員会

2月8日、9日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、平成29年度一般会計予算や条

## 東三河広域連合議会

今後1年間、愛知県市議会議長会の会長として、県内各市の市政の更なる充実に向けた取り組みをしていきます。

## 愛知県市議会議長会の会長に就任

2月3日の愛知県市議会議長会第117回定期総会において、蒲郡市議会の喚田孝博議長が会長に就任しました。

## 5月臨時会・6月定例会予定

5月市議会臨時会は5月15日(月)に、6月市議会定例会は6月9日(金)に開会する予定です。詳しい日程は、議会事務局へお問い合わせください。

なお、本会議の日程と一般質問の内容は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。

例案など計4議案を可決・同意しました。また、一般質問では蒲郡市選出の竹内滋泰議員が「シビ工振興」及び「介護保険統合」について、鈴木貴晶議員が「稼げる広域連合」について質問をしました。

こちら編集委員会  
66-1169



平成28年度最後の定例会は、2月20日に告示され、議案審査及び3会派の代表質問、11名の個人質問、そして18名の委員で構成される予算審査特別委員会で平成29年度予算の審査が行われました。

また、本市議会では初めての試みとして本会議の初日(2月27日)に、市民の皆様、「音楽のまち・蒲郡」を改めて認識していただくとともに、気軽に市議会にお越しいただき、議会をより身近に感じていただける「市民に開かれた議会」となりますよう、ミニコンサートを開催しました。明るい春をイメージした音楽とともに、議場では春の訪れが感じられました。

今後とも市民の幸福と市政発展のために、取り組んで参ります。

## 議会だよりは点字版、テープ版・CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、テープ版・CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で行われています。また、議会だよりは市議会ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」でもご覧いただけます。

## 今月の紙 市民病院 地域医療連携室

地域医療連携室は、患者さんを中心に考え、より良い医療を円滑に安心して受けていただけるよう、地域の医療機関と市民病院をつなぐパイプ役です。開業医の先生方からご紹介のあった患者さんの診察予約や検査予約をはじめ、地域に帰られる患者さんを支える退院支援、安心して住みなれた地域で生活するための医療・福祉・介護に関する相談を行っています。



問い合わせ先：市民病院 地域医療連携室 (TEL 66-2307)